



〔友だち〕

5年 椎名政敏くん
顔の部分をけずり、
白くするのがむずかし
かったです。横を向い
ている様子がうまくと
らえられたと思います。



〔なわとびをするぼく〕



3年 斉藤武揚くん
手のまわりが、こま
かくてけずりにくかっ
たです。



〔友だち〕

6年 沢田雅利くん
これは、友達を描
いた多色刷版画です。
顔の部分が意外と
むずかしかったです。



4年 野村拓史くん
彫刻刀の使い方がむ
ずかしかったです。刷
る時心配でしたが、う
まくいったと思います。



〔とび箱〕

ひかり俳壇

雛飾る吾につながる子とその子

鈴木 都根（橋 場）

蛙焼くや女人多き過疎の里

伊藤 定男（尾垂五区）

小走りに火種を移し蛙を焼く

鈴木とし子（宝 米）

更けて読む「女人平家」や春浅く

布施 和代（二 又）

梅見人風なき影を従へり

秋山 一泉（野栄町）

日脚伸ぶ縁に恙の爪を切る

大木静波子（篠本二区）

逝く人を惜しむや今日の涅槃西風

藤代 敏子（宮 内）

かけうどん湯気の向ふの幼顔

伊藤 幸枝（尾垂六区）

雛まつり昔のままなる金華糖

椎名 カツ（橋 場）

露の臺父の休みに食卓へ

土屋 義昭（虫 生）

野火跡の缶累々と白日に

椎名しげる（橋 場）